

比較で知る廿日市市

廿日市市は広島県西部に位置し、海と山を擁する自然豊かな地域です。また、日本三景・安芸の宮島を訪れる人が年間四百五十万人を超える観光地としても有名です。

廿日市市は主に五つの地域からなり、それぞれ海・街・山としての特色があります。



人口

人口は約十二万人で広島市のほぼ十分の一です。
二度の合併（廿日市・佐伯・吉和・大野・宮島）以来、人口はほぼ横ばいとなっています。

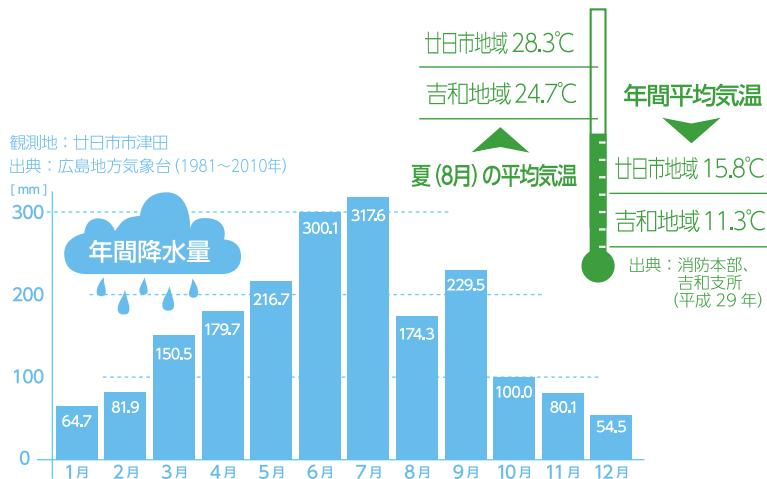
114,906人
全国 249 位 / 1,741 自治体

1,194,034人
全国 10 位 / 1,741 自治体

出典：平成 27 年国勢調査

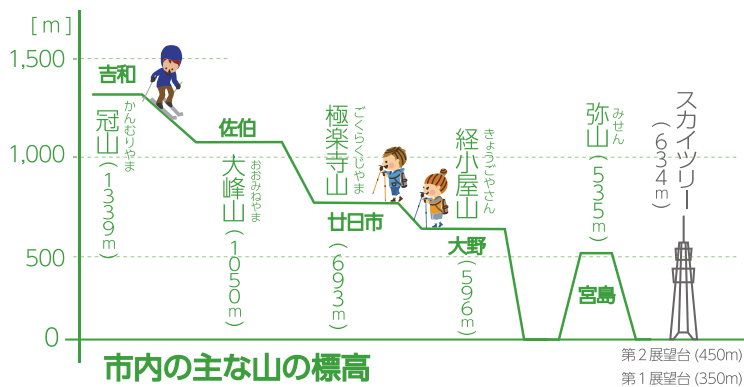
気候

沿岸部は瀬戸内特有の温暖な気候です。
山間部の吉和地域は日本海側気候に属し、沿岸部に比べ平均気温が約五度も低く、豪雪地帯となっており、スキー場もあります。



標高

市内の山々は弥山をはじめ登山道が整備されており、登山客に人気があります。特に冠山は県内第二位の標高があり、太田川の源流として、林野庁から水源の森百選に選定されるなど、広島の水を支えています。



海から山まで広がる廿日市市

廿日市市の観光資源としては、世界遺産である厳島神社を有する宮島があることが最大の特徴であり、国内外から多くの観光客を集めている観光地として認知されています。本土側の沿岸部にはかつての西国街道の面影を残す社寺などの歴史文化資源があり、内陸の田園地域には複数のスポーツ施設があります。

また、中国山地側には冬期に九州方面からも集客があるスキー場があり、さらにもみのき森林公園などの森林レクリエーション資源が充実しています。温泉施設としては、瀬戸内海に面する宮浜温泉をはじめとして、内陸から中国山地側にかけても複数の温泉施設があります。



- 凡 例
- 高速道路
 - 国道
 - 幹線道路
 - 公的宿泊施設
 - 温泉
 - キャンプ場
 - スキー場
 - ゴルフ場
 - 紅葉の名所
 - 道の駅・物産館
 - 神社
 - 仏閣
 - その他

一年中楽しみがいっぱい！

行事

四季の宴、挑戦の舞台 ―華やかな祭りと行事―

廿日市市では、平安時代から続く伝統行事から、市民の手づくりイベントまで、四季折々にさまざまな行事が行われています。
近年は、大規模なスポーツの大会も始まり、全国や世界からトップを目指して、たくさんのプレイヤーが廿日市市に集っています。

宮島水中花火大会

水中尺玉の多さが特徴の花火大会

約五千発が打ち上げられる広島県を代表する花火大会。中でも見ものは、百発の水中尺玉で、花火船から海中に投げ込まれて大音響とともに炸裂し、世界遺産の厳島神社の社殿や朱の大鳥居を幻想的に浮かび上がらせます。
毎年八月開催。



はつかいち桜まつり

参加者が一体となって春の訪れを祝う

桜の名所、住吉堤防敷に隣接する昭北グラウンドをメイン会場に行われる祭り。二つのステージや当地グルメなどが食べられる出店広場、各種体験コーナーなどが会場を盛り上げます。堤防敷のぼんぼり点灯期間には夜桜を楽しむことができます。
毎年四月
第一日曜日開催。



はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン大会

廿日市の海から山へ
駆け抜けるレース

高低差九百メートルにも及ぶ国内でも有数の苛酷なレース。厳島神社の大鳥居からスタートして廿日市、大野、佐伯地域を通過して、吉和のウッドワン美術館までアップダウンの激しいコースを走ります。
制限時間は七時間で、合計七十七、五キロのコースを競います。世界遺産をスタートし、緑豊かな中山間地を走り抜くコースは、市民の応援の熱さも含めて、国内外のアスリートの憧れとなっています。
毎年六月下旬または七月月上旬開催。



宮島かき祭り・大野かきフェスティバル

多彩なかき料理を旬の時期に堪能

宮島かき祭りは、宮島桟橋前広場で行われる広島県内で最初に始まったかき祭りで、かきの土手鍋、かき雑炊などが格安で味わえるほか、ステージでは歌や和太鼓などが花を添えます。
毎年一月第二土・日曜日開催。
大野かきフェスティバルは、ポーターレース宮島で行われ、かき料理の数量限定の無料提供や販売のほか、地域特産品コーナー、ステージイベントや抽選会などが楽しめます。
毎年一月第二日曜日開催。



けん玉ワールドカップ

世界のけん玉プレイヤーが技を競う

大正時代にけん玉の大量生産が始まった「けん玉発祥の地・廿日市」で平成二十六（二〇一四）年にスタート。世界中のけん玉プレイヤーがけん玉の聖地に集い、最高の技を競い合い、けん玉を通じて交流する世界最大規模のけん玉イベント。サンチェリーなどで行われ、平成二十九（二〇一七）年は、十四の国と地域から三百八十七名が参加し、五万人以上の観客が集まりました。
毎年七月下旬開催。



まだまだあります 廿日市市の 華やかな 祭りと行事



はつかいち木工まつり
木材利用センターで行われ、けん玉製造の見学や木工体験が楽しめます。
毎年5月下旬開催。



大野みんなのまつり
小田島公園で行われる宮エオブジェ、ステージ、子ども商店街など盛りだくさんの祭り。毎年6月開催。



管絃祭
厳島神社および摂社で行われる、管絃を奏しながら御座船が海を渡る、平安時代に始まったとされる祭典。
毎年旧暦6月17日開催。



二百廿日豊年市民祭
廿日市天満宮と商店街で行う江戸時代から続く伝統行事。露店が軒を連ね、俄みこしや和太鼓演奏なども。
毎年9月第2土曜日開催。



吉和おさんぼギャラリー
マップを片手に自由に巡る、吉和地域で行われる「自宅開放型」ギャラリー。毎年10月開催。



宮島お砂焼まつり
宮島お砂焼の陶器市やお菓子のコーナーなどの催しが宮島口で行われます。毎年10月開催。



神楽
廿日市市は神楽が盛んで、多数の団体が活動しており、市内の各地域で毎年大会が開かれます。



佐北駅伝大会
今年で67回を迎える、佐伯地域一帯で開かれる伝統ある駅伝大会。
毎年12月上旬開催。



吉和どんとまつり
吉和グラウンドで約20メートルのどんとに火を点けて、1年間の無病息災を祈ります。毎年1月開催。



甘日市駅

木をふんだんに使った駅舎

明治三十（一八九七）年に開業した、百二十年の歴史を誇る駅。平成二十七（二〇一五）年十月、「木のまち」廿日市市の玄関口にふさわしい、木をふんだんに使った明るい駅舎に生まれ変わりました。改札口が二階部分にある橋上駅舎で、北口と南口が自由通路でつながっています。あわせて、ロータリーを備えた駅前広場や広電廿日市駅とつながる自動車道路などの整備が行われました。廿日市市には、この駅を含めJRの六つの駅があり、大変利便性が高いまちになっています。



厳島神社

世界から観光客が訪れる世界遺産

海上に立ち並ぶ社殿群と、弥山など背後の大自然と一体となった優れた景観から、平成八（一九九六）年、世界遺産に登録されました。六世紀後半の創建とされ、海上交通の守護神とされる三女神を祀っています。自身の重みで海に立つ大鳥居のほか、平清盛が造営した寝殿造りの様式を伝える社殿などがあり、世界中から観光客が訪れます。管絃祭や鎮火祭、桃花祭御神能など、四季折々の行事も見逃せません。

施設

まちの賑わい、暮らしの輝き
人が集う交流の舞台がある

海から山まで多彩な自然に恵まれた廿日市市には、それを生かした公園やレジャー施設がたくさんあります。自然と一体となった独創的な建築で知られる厳島神社には、海外からもたくさんの方が訪れます。



宮島水族館（みやじマリン）

三五〇種の生きものがみられるイベント満載の水族館

平成二十九（二〇一七）年に開業五十周年を迎えた、宮島の景観に配慮した和風建築の水族館。「瀬戸内海まるごと」をコンセプトに三五〇種万三千点以上の生きものを展示し、本館では十のゾーンで瀬戸内海のクジラ「スナメリ」などを中心に神秘的な世界を紹介。海獣エリアではペンギンをはじめトドやアザラシ、コツメカワウソなど愛らしい動物に会うことができます。ライブプールでは、アシカライブを毎日行っています。ぬいぐるみなど、オリジナルグッズを販売するミュージアムショップもあります。



もみのき森林公園

森林浴の森一〇〇選に選ばれた大自然の県立公園

標高七百五十〜千七メートルに位置する、大自然に囲まれた県立公園。モミの木が点在する景観が特徴で、昭和六十一（一九八六）年の「森林浴の森百選」にも選ばれました。宿泊施設を中心にバーベキュー広場や、空中散歩が楽しめる中国地方初となるフォレストアドベンチャーなどが整備されています。園内の芝広場では、冬場はスキーやソリ遊びも楽しめるほか、野鳥観察会、キノコ狩りと料理教室、スノーシュー体験会など一年を通してイベントが充実しています。



はつかいち文化ホール さくらびあ

廿日市市の市民文化活動の拠点

市民の文化の拠点と呼ぶにふさわしい、市庁舎と隣接した複合施設。コンサートや演劇、講演会などに使用できる千九百五十席の大ホールと二百九十六席の小ホール（車椅子席と親子席完備）のほか、アップライトピアノを備えたりハーサル室や練習室などがあります。併設されている「はつかいち美術ギャラリー」では、ユニークな展覧会や企画展を開催しています。



まだまだあります
廿日市市の人が集う交流の舞台



めがひらスキー場
総延長5,800メートルのビッグスケールで、初心者から上級者まで満足できるスキー場。



吉和魅惑の里
オートキャンプ場、温泉、ケビン、RVパークなどがある大自然のリゾートランド。



MRC乗馬クラブ
冠高原に位置する乗馬クラブで、体験コースもあり、初心者でも気軽に楽しめます。



佐伯国際アーチェリーランド
2種類のコースを楽しむ。中四国地方で唯一のフィールドアーチェリースポット。



佐伯総合スポーツ公園
広い敷地内にたくさんのスポーツ施設があり、毎年ウエスタンリーグなども開催しています。



岩倉ファームパーク
小瀬川の清流と森林に囲まれた、家族やグループで楽しめるオートキャンプ場。



おおの自然観察の森
天然記念物（県指定）ベニマンサクの湖の周辺に自然散策路などがあり、鳥や植物の観察が楽しめます。



宮浜温泉
宮島を望む温泉郷として親しまれ、毎年夏に行われる「まくら投げ世界選手権大会」でも知られています。



宮島包ヶ浦自然公園
700メートルに及ぶ自然海岸の海水浴場やキャンプ場などがあり、滞在型アウトドアが楽しめます。

地域資源

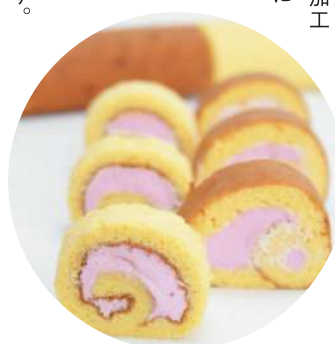
風土の恵み、伝統の心 〜地域が育んだ廿日市市の宝〜

地域の人たちのたゆまざる努力と創意工夫により、果物や野菜、魚介類などたくさんの特産品が生まれました。また、西中国山地の木材集積地と西国街道の宿場町として繁栄を続けた廿日市市には、伝統工芸や伝統芸能が多く残されており、若い世代へと受け継がれています。

はつかいちご

**甘味と酸味の
絶妙なバランスが特徴**

廿日市地域では、温暖な気候を活かして昭和二十四（一九四九）年から加工用いちごを栽培しており、「平良いちご」として独自の産地を築いていました。現在は市内で獲れるいちごを「はつかいちご」としてブランドینگし、生産量の増加や加工品の開発などに取り組んでいます。定番のジャムはもちろん、「いちごタルト」「いちご大福」などの多彩なスイーツがあります。



さいき大長なす

柔らかく食べごたえのある大長なす

柔らかい肉質が特徴の、三十センチを超す大きなナス。昭和四十九（一九七四）年に佐伯地域で栽培が始まり、「ふるさと一品運動」で生産が強化されました。地元佐伯高等学校の生徒が「なすレーヌ」というマドレーヌを考案し、地元のお店が製造・販売しています。



わさび

中国山地の湧水の恵み

冠山や十方山の湧き水を利用して栽培された、吉和地域を代表する特産品。清水や水温など厳しい条件が要求される植物だけに、自然に恵まれた吉和地域ならではの、みずみずしい味わいがあります。わさびの葉を醤油漬けした特産品の「わさび葉漬」のほか、「わさびソフト」や「わさび丼」など、わさび好きにはたまらないユニークなグルメもたくさん揃っています。



説教源氏節 跳楽座

明治時代から伝わる人形芝居

広島県無形民俗文化財に指定されている人形芝居。江戸時代後期に名古屋で生まれた音曲がルーツで、明治時代に原地区に伝わり、舞台装置と人形を製作する中で、独自の舞台装置を工夫するなど、舞台芸術として発展させてきました。現在伝承しているのは、廿日市市を含め全国でも二カ所のみです。原地域には、公演や練習を行う「民俗芸能伝承館」もあり、地元では「でこ芝居」と呼ばれ、親しまれています。



ほうれん草
標高が高く冷涼な気候の佐伯・吉和地域で作られ、新規農業経営者の研修事業も行っています。



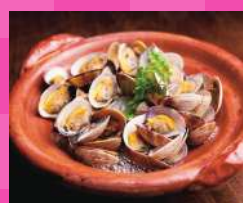
広島サーモン
佐伯地域の万古溪で育てられたニジマスの稚魚が、大崎上島の海でブランド魚に育てられます。



切りバラ
廿日市地域は、県内でも出荷量が多く生産の盛んな地域です。百種類以上のバラを栽培しています。



地御前かき
広島かきの中でも粒が大きく、味の良い高品質なかきとして有名です。



大野あさり
手掘りで収穫される大野地域の特産品。砂が少なく食べやすいのが特徴で、コンのある風味を楽しめます。



あなご飯
大野瀬戸であなごがよく獲れたことから宮島の味の代表格となった郷土料理。駅弁としても人気です。



もみじ饅頭
広島県を代表する銘菓。定番のこしあんのほか、クリームやチーズなどバリエーションも豊富。



宮島お砂焼
厳島神社境内の砂を混ぜて焼いた縁起物。窯元で陶芸・絵付け体験することもできます。



舞楽
奈良時代に伝来した舞楽を平清盛が四天王寺から伝え、20曲以上が厳島神社で受け継がれています。

まだまだあります
廿日市市の
地域が育んだ
廿日市の宝